

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

- 東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
- 大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040
- URL <https://www.teijin.co.jp>

2020年3月19日

## 熱可塑性炭素繊維複合材料の用途を拡大 「Sereebo」がパナソニック製ビデオカメラに採用

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：鈴木 純）が展開する熱可塑性炭素繊維複合材料（CFRTP）製品である「Sereebo（セリーボ）」が、このたびパナソニック株式会社のデジタル4Kビデオカメラ新製品「HC-X2000」および「HC-X1500」に採用されました。



「HC-X2000」



「HC-X1500」

「HC-X2000」と「HC-X1500」は、テレビ放映向けなどプロフェッショナルな現場での映像撮影も可能な「4K60p・10bit」に対応したビデオカメラであり、「HC-X2000」については、従来の機種と比較し約40%の小型化、約15%の軽量化と、連続撮影時間約4時間35分との両立を実現し、ビデオカメラとしての機動性も有しています。

一方、「Sereebo」は、製造タクトタイムを大幅に短縮したことで、電気製品や自動車などの部品の量産を可能にした革新的なCFRTP製品です。その中でも、このたび採用されたのは、帝人のポリカーボネート樹脂「パンライト」をマトリックスとした射出成形向けのもので、ハンドルユニットおよびトップカバー部分に使用されています。

従来、カメラの筐体やボディにおいて軽量化と強度を両立させるために、チョップドファイバーと呼ばれる炭素繊維が使用されますが、これは繊維長が短いことにより強度特性の担保が課題となっています。それに対して「Sereebo」は、当社独自の樹脂組成技術により、軽量化と高い強度特性の両立のみならず、優れた難燃性も実現します。また、独自の樹脂加工技術により、表面に炭素繊維が浮き出ることがなく、表面外観性にも優れています。こうした特長がパナソニックに高く評価され、共同で成形品の開発を重ねた結果、このたびの採用に至りました。

当社は、精密機器・電気製品など、量産性および強度、軽量化が求められる用途に向けて「Sereebo」の展開を強力に推進し、複合成形材料におけるリーディングカンパニーとしての地位を確立していきます。

以 上

**【 当件に関するお問合せ先 】**

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055